

施策分類	自転車利用の促進			
代表的な事業	自転車道の整備、駐輪場の整備、コミュニティサイクルの導入 等			
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車からの自転車への利用交通手段の転換によるCO₂削減。 ・住民の健康増進。 			
モデル事業を通じて明らかとなった課題(うまくいかなかった例)	●自転車駐輪場等の自転車施設導入・維持のための財源確保			
	・自転車駐輪場の整備スキームを活用しても、その整備にかかる費用や負担金についての財源確保が課題となっている事例がみられる。			
	事業例	明らかとなった課題・うまくいかなかった点		
	自転車駐輪場整備	(財) 自転車駐輪場整備センターへの負担金(5年間)の財源確保が課題となっている。		
	●CO₂削減等の自転車利用促進効果の把握手法が未確立			
	・自転車利用を促進することによる効果を把握するための統一的な手法が確立していないこともあり、実施効果を計測していない例がほとんど。			
	・実施効果の把握は、継続的な取組み(PCDAサイクルや財源確保)と市民・利用者への啓発の観点からも必要な事項である。			
	事業例	明らかとなった課題・うまくいかなかった点		
	—	—		
	●地形的、気象的障害			
	<ul style="list-style-type: none"> ・導入先の地形的特性や気象的特性が課題となっている事例が見られた。 ・レインバスの運行など、代替交通手段の用意も必要である。 			
	事業例	明らかとなった課題・うまくいかなかった点		
レンタサイクル社会実験	起伏が大きい地形も影響し、本格実施には至らなかった。			
サイクル・アンド・ライドの利用促進	雨が多い地方での導入には、利用面での課題が多い。			
●利用者の利便性考慮				
・レンタサイクルの利用者を伸ばすには、多様な乗り方への対応など、利用者の利便性を考慮することが必要である。				
事業例	明らかとなった課題・うまくいかなかった点			
公共交通機関利便性向上を支援するレンタサイクル事業	今後は、サイクルポート箇所を拡大を図り、レンタサイクルのポート間での乗り捨てが出来るような施策展開が必要。			
取組推進上のポイント	①既存の自転車関連施設や放置自転車の活用			
	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場や自転車ネットワークの整備にあたっては、既存の補助制度や整備の仕組みを活用できる。 ・既存の駐輪場を活用することで、用地確保の費用や期間を削減できる。 ・各地で問題となっている放置自転車を活用することで、自転車導入費用を削減できるとともに、放置自転車対策ともなる。 			
	事業概要	事業推進上のポイント	持続性	地域
	鉄道高架下への自転車駐輪場の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)自転車駐輪場整備センターによる整備を活用した。 ・敷地の一部について市で仲介した。 	—	三郷市
	自転車ネットワークの形成	国の補助事業により、既存市道に自転車専用通行帯の整備等を継続している。	補助事業を活用して取組み継続	三郷市
	サイクルシェアリング	現有の駐輪場を有効に活用し、放置自転車を再生自転車として利用することで放置自転車対策ともなった。	社会実験完了	静岡市
	②利用ニーズの把握とニーズの掘り起こし			
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとに自転車利用のニーズ(利用目的や需要)について事前に把握し、必要な整備水準を検討することがポイント。 ・併せて、自転車利用を促進するためのソフト施策(マップ作成等)を実施することで促進効果が増進する。 			
	事業概要	事業推進上のポイント	持続性	地域
	大規模自転車道利用促進	レンタサイクル事業者、旅行会社へのヒアリングを実施し、対策検討の基礎資料とした。また、PRが重要との意見を受け、「奈良サイクリング観光マップ」を作成した。	単費などで取組み継続	奈良県
	バス停付近への自転車駐輪場整備	サイクル&バスライド実施に向けた調査検討をする上で、地元自治体や交通機関の各種施策・計画等を念頭におき、かつ利用ニーズ等の把握調査を実施した。	—	松山市
	鉄道高架下への自転車駐輪場の整備	区画整理事業に基づく人口増加や市外からの流入などの需要予測がカギであった。	行政補助なしで自立して取組み継続	八潮市
③自転車利用促進効果のモニタリングにおける工夫				
・例えば、MM・TFPや啓発活動と併せてアンケート等による効果の計測や、自転車利用者への利用実態アンケート調査などによるデータの取得が考えられる。				

施 策 分 類	自転車利用の促進			
取組推進上のポイント	④他事業との共催による相乗効果			
	・ ノーマイカーデーやサイクルアンドライドなど、車の利用を抑制する事業と組み合わせることで、代替交通として役立たせる。			
	事業概要	事業推進上のポイント	持続性	地域
	短距離区間の自転車通勤支援	「ノーマイカーウィーク秦野」の実施にあわせ、平成 17 年度、平成 19 年度に渋沢駅にてレンタサイクルの社会実験を実施（利用料金は無料）し、相乗効果が期待できた。	単費などで取組継続	秦野市
	⑤レンタルサイクルの利便性向上			
	・ レンタルサイクルの貸出し手続きの簡素化といった利便性の向上は、利用者を増やす一助となる。 ・ 会員限定サービス等のインセンティブを付加することで、利用者を拡大することも考えられる。			
	事業概要	事業推進上のポイント	持続性	地域
	公共交通機関利便性向上を支援するレンタサイクル事業	有料自転車駐車場内へサイクルポートを設置し、管理体制を確立した。また、貸出し手続きをスムーズに行うために、会員制度を導入した。	単費などで取組継続	福山市
	⑥地元企業の意向の把握			
	・ 対象地域の企業の意向や事業参加へのマイナス要因等を把握することにより、事業の実現性を向上させる。			
事業概要	事業推進上のポイント	持続性	地域	
レンタルサイクル重点推進地区選定調査	企業へのアンケート調査等の結果等を踏まえて、レンタルサイクル導入にふさわしい地区を複数抽出した。	事業完了	神奈川県	